

日本共産党あきる野市議団の一般質問

9月定例会市議会は8月30日から始まります。日本共産党市議団は、直面するさまざまな課題を取り上げます。わたしたちが9月議会で行う予定の一般質問をご報告します。ぜひ傍聴においでください。



山根とみえ議員 30日 6番目

大雨によるがけ崩れの安全対策について

① 7月の大雨で、草花 折立地区のがけが崩れました。東京都に申し入れを行ったと聞いていますが、その後の対応と、今後の安全対策について質問します。

② 市内で大雨によるがけ崩れなど災害は何ヶ所起こっているか、また、その対策について問います。

ごみの減量対策と収集方法の改善について

① ごみの減量のため、生ごみの堆肥化を推進すべきとの提案と、カラスや猫対策ができないか質問します。

② 現在粗大ごみを出すには業者に依頼した後、シールを買いに行くなど手間がかかり、高齢者は大変です。この出し方を、シール入手方法を工夫するなど改善できないか問います。

③ 現在拠点回収方式になっているペットボトルの回収方法を、資源ごみと一緒に回収するなど改善するよう提案します。

高齢者の見守り対策について

この夏、100歳を超えた高齢者の安否確認が行われていなかったという事態が各地で起きています。自治体として、きめ細かな対策が求められています。あきる野市では、高齢者の見守り活動などはどのように行われているか問います。

31日 6番目 たばたあずみ議員

地上デジタルテレビへ市の取り組みは

① 五日市地区山間部には共聴アンテナ設置がすすめられていますが、ほかにも受信困難な地域があるかどうか、また受信援助の手立てはとられているか質問します。

② 生活保護受給世帯や経済困難な世帯へは、どのような支援策がとられているか質問します。

③ 2011年7月の完全移行までに、全市民がデジタルへ切り替えられると考えているかどうか問います。

難聴者のため磁気ループの設置を

国民10人に1人が高齢難聴者とも言われています。

難聴は社会・家族からの孤立を生み、閉じこもりや認知症の引き金にもなり得ます。難聴でもいきいきと暮らせるよう、磁気(ヒアリング)グループシステムを主要施設に設置すべきと提案します。



5歳児健診の新設を

こどもの発達障害は、いじめや不登校の原因になることもあります。早期に発達障害を発見し、適切な対応をとることで、学校などでも配慮しやすくなり、こどもの発達にも役立ちます。全国でも増えつつある5歳児健診を、あきる野市でも実施するよう提案します。



戸沢ひろゆき議員 1日 1番目

「出向く市役所・出前臨時市長室」開設を

市民も悩みの多い社会情勢です。思い切って行政が地域に足を運びべきと考え、「出向く市役所・出前臨時市長室」を提案します。

秋川高校跡地計画の進捗について

都立秋川高校跡地は更地にされました。地価が下落し、企業の設備投資意欲も低下している中、東京都に出した計画書はどう反映されているのか、現在の状況と今後の見通しを問います。

ファーマーズセンターの大規模改修について (パート3)

設備が老朽化し、農業者からも改修をのぞむ声が出ている秋川ファーマーズセンターについて、これまで2度にわたり質問したなかでは、市長から関係者と協議したいという前向きな答弁が得られました。現在、協議がどのようにすすめられているのか質問します。

前回172号でマールポロウ市記念式典の日付を「8月6日」としたのは「9月6日」の誤りでした。お詫びして訂正します。